

第3章 評価の結果に対する対応方針

分科会の評価結果を受けて、国土技術政策総合研究所では以下のように対応する。

■令和4年度 第4回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第一部会）

・下水道管路の防災・減災技術の開発に関する実態調査（終了時評価）

評価結果を踏まえ、地方公共団体や関連団体へ成果の周知・普及を進めて参りたい。

また、人孔蓋安全対策検討フローで抽出される危険箇所に係る適合性について、地方公共団体における有意な事例の情報収集を行いながら、実証に向けて検討を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・下水処理場の応急復旧対応を再現可能な下水処理実験施設整備及び検討（終了時評価）

評価結果を踏まえ、下水処理場の被災状況に応じて、どのような応急復旧が有効であるかについて、引き続き検討して参りたい。また、今回整備された実験施設について、今後の多面的な活用を検討して参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・免疫性を考慮した降雨指標に応じた崩壊生産土砂量の予測に関する検討（終了時評価）

評価結果を踏まえ、本成果の公表・活用に際しては、分析している対象現象を明示することにより、データの意味や結果の解釈に誤解が生じないように留意して参りたい。

また、本研究を起点として研究対象事例を増やしてデータの充実を図るとともに、時間の経過を考慮して段階的に超過確率評価を行うなどの高度化を図って分析精度を向上することにより、より合理的な対策につなげて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・斜面・対策施設下部が全面的に水没した場合の崩壊危険度の評価手法の検討（終了時評価）

評価結果を踏まえ、実務者向けの講習会等における説明の際には、今回提案した個々の条件判定について、本研究の成果から導き出した客観的プロセスに関して詳細な明示に努める。

また、シラス台地を対象とした解析において、水の供給条件が変わる（飽和状態でない）場合についても今後の課題として検討して参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・ICT施工推進に必要な技術基準類整備に係る調査研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、公表する審査基準項目・観点と、実際の審査内容との間に相違が生じないよう、今後、提案者へのヒアリング等により情報収集を行いながら、申請者側の受けとめ方に更に配慮した運用に努めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■令和4年度 第5回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第三部会）

・沿岸域における環境保全技術の効果的活用のための評価手法の開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、基準値の設定方法やアンケート結果の解析手法、評価結果の提示方法等について更なる検討を実施し、本評価手法の信頼性および実用性の向上について検討して参りたい。また、本評価手法を用いた環境保全施設の評価を積み重ね、評価結果を考察・検証し、評価手法を改善することによって、本評価手法の更なる展開と普及につながるように継続して取り組んで参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・コンテナ船の定時性向上に資するターミナル混雑度指標の開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、本研究成果について、更に国内外への発表を検討すると共に、今後、機会を捉えて成果の説明を積極的に行い、実務への具体的な活用方法についても検討を進めて参りたい。また、より効率的かつ円滑なサプライチェーンの実現に向けて、研究対象範囲の拡大をしつつ、今後も研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■令和4年度 第6回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第二部会）

・地震を受けた拠点建築物の健全性迅速判定技術の開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、今後の検討として、国としてこのようなセンサによる被災判定システムのためのデータ処理・ソフトウェアを含めた標準化および木造の施設への適用に資する情報を公表していくことを引き続き検討して参りたい。また、本手法は建物の卓越する振動数に基づく評価であるため、不整形でねじれ振動が生じるおそれがある建物においても卓越振動数が把握できていれば概ね問題はないものと考えているが、そのような建物に対する評価の検証は今後の課題としたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・ 地方都市における都市機能の広域連携に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、広域連携を検討している地方自治体がどのような方策を選択すべきか検討する際に役立つ手引きの作成に努めて参りたい。その際、活用方法が分かりやすい手引きとなるように留意するとともに、都市内の生活圏の広がりや広域連携する施設の違いに応じて広域連携の相手先が異なる場合があることなど、合理的な広域連携範囲の検討の参考になるような知見を提供できるように、手引きを拡充するための研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・ 水害時の被災リスクを低減する既存戸建住宅の予防的改修方法に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、浸水被害を受けて復旧・改修された住宅でのカビ発生による健康被害など、住環境の長期的な経過については、今後、関連研究などの機会を捉えて調査、フォローアップの検討に努めて参りたい。また、予防的改修の技術や効果等、成果の公表・普及については、住宅の所有者・居住者等が客観的に判断できるような方法を検討するとともに、広く関連団体との情報共有を進めて参りたい。

その他、水害対策以外を目的とした改修の方法や効果との関係性など、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

